

原発と たたかう トルコの人々

日本の原発輸出、現地の声は？



2016年のシノップ反核集会で踊る参加者 ©森山拓也

日本が原発輸出を計画するトルコでは、原発への反対運動が40年以上続いています。トルコの人々はチェルノブイリ原発事故による深刻な汚染被害も経験しており、原発に厳しい目を向けています。原発に反対するトルコの人々の声や運動の様子を、写真や説明パネルの展示を通じて紹介します。

2018年9月11日(火) ▶ 9月30日(日)

会場：立命館大学国際平和ミュージアム2階 常設展示室内
開館時間：9時30分～16時30分（入館は16時まで）
休館日：月曜日（但し、9/17は開館）、9/18（火）
見学資料費：大人400円（350円）中高生300円（250円）
小学生200円（150円）

- *（ ）内は20名以上の団体料金
- *先に地階受付で見学資料費をお支払いください
- *立命館で学ぶ人・働く人は無料です

主催：森山拓也
共催：立命館大学国際平和ミュージアム
協力：ノーニクス・アジアフォーラム・ジャパン
問い合わせ：立命館大学国際平和ミュージアム
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
TEL：075-465-8151 FAX：075-465-7899
<http://www.ritsumei.ac.jp/mng/er/wp-museum/>

交通案内（右地図参照）
市バス12・15・50・51・55・59、JRバスにて「立命館大学前」下車、徒歩5分
市バス204・205にて「わら天神前」下車、徒歩10分
※お車での来館はご遠慮下さい

主催者プロフィール：森山拓也
同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科博士後期課程在籍。2015年にトルコの反原発運動の取材を開始。トルコの反原発運動を描いたドキュメンタリー映像「沈黙しない人々」は横濱インディペンデント・フィルム・フェスティバル2017準優秀作品、International Uranium Film Festival 2018 in Berlin招待作品。

